

石神中学校だより



第 8 号

発行日：平成25年 9 月10日 (火)

【教育目標】

- ・自ら学習する生徒
- ・正しく判断できる生徒
- ・健やかな生徒

発行者 校長 遠藤隆徳

夏休みの練習の成果が発揮されています!!

1 相馬地方中学校英語弁論大会

8月30日(金)、相馬市の「はまなす館」にて開催されました。2学期に入り、最初の大会です。本校からは、3年生の稲葉朱里さん、松本彩香さん、2年生の谷地田葵日さんの3名が暗唱の部に出場しました。3名は夏休み中のほぼ毎日、英弁の練習に励んでいました。その甲斐あって、本番では見事なスピーチをすることができました。



(谷地田さん)



(稲葉さん)



(松本さん)

2 ジュニアオリンピック陸上福島県大会

9月1日(日)、いわき市陸上競技場で開催され、これまた夏休み中の練習の成果により、次の通り本校生が活躍をしました。

○男子A砲丸投 第1位 布川 輝君 (3年) 記録 15 m 50 (大会新)

○男子B砲丸投 第3位 樺田光一君 (2年) 記録 10 m 17

○男子ABC共通ジャベリックスロー 第3位 草野竜馬君 (3年) 記録 43 m 14

なお、優勝した布川君は、10月25日から27日に横浜日産スタジアムで開催されるジュニアオリンピック大会に出場します。

3 相双中体連駅伝大会

9月4日(水)、雲雀ヶ原陸上競技場をスタート・ゴールとして開催されました。本校からは、男女各1チームが参加しました。夏休み中、毎朝校地内の特設コースを走り、鍛えてきました。当日の女子のレースは大雨の中、男子のレースは暑い日差しの中となりましたが、それぞれ襷を着実に繋ぎ、男子は10位、女子は8位となりました。次に、出場した選手を代表して、2人の感想を紹介します。

<佐藤絢音さん>

空から雨が降る中、私たちは「石神中学校」と書かれた襷と一緒に走りました。その日は、朝から雨や雷が鳴り、おまけに地震も来た最悪な日でしたが、選手たちは悔いのない走りをするよう頑張りました。

そのおかげで女子は8位入賞し、男子は入賞を逃したものの1年生の山田君が区間賞という素晴らしい成績を残すことができました。

県大会出場が果たせなかったことは悔しいけれど、壮行会でも全校生に話したように、「悔いのない走り」と「仲間を信じる」ことができたので、今はとてもうれしいです。

<山田耕大君>

僕は、石神中生徒となって、はじめての駅伝大会に出場し、とてもよい経験になったと思っています。

襷を受け取ってからは、練習したことを信じ、全力で走り、しっかり次のランナーにつなげることができました。区間賞は、先生に教えられて知り、信じられないくらいびっくりしました。どれもすべて、練習したお陰だと思うので、これからも部活・陸上に頑張っ



練習していきたいと思いました。